

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立新居浜西高等学校定時制
学校番号 (5)

評 価 実 施 日		令和 8 年 2 月 12 日 (木)	
学校関係者評価委員	氏 名	所 属 等	備 考
	伊藤 優子	学 校 評 議 員	
	柿木 仁	学 校 評 議 員	
	石井 亮	地 域 住 民	
	能瀬 伸一	地 域 住 民	
	伊藤 嘉秀	地 域 住 民	
	白川 尚弘	新居浜市立北中学校校長	
	三木 悟志	P T A 会 長	
学校評議員	加藤 喜裕	地 域 住 民	
	永井 誠司	地 域 住 民	
	三木由紀子	地 域 住 民	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
1 最終評価や学校評価アンケートについて (1) 生徒の満足度について 2年連続で参加させていただいた運動会においては、雰囲気素晴らしく、生徒たちが主体的に運営し、生き生きと表情豊かに活動している様子に感動を覚えた。生徒の学校行事に関するアンケートも高い数字である。 しかし、「学校が好きであるか」という質問に対しては、約4分の1の生徒が「あまりそう思わない」「そう思わない」と答えている。これはなぜなのか。 (2) 進路指導について 希望進路実現の説明において、卒業予定者の中には、卒業を第一目標にしている生徒が多いほか、自信をもって次のステップに進むのに時間がかかる生徒、また、看護の道に進みたいが、上級学校に進学するためには自分がアルバイトをして学費を準備しないといけない生徒もいるとのことであった。現在、看護師は売り手市場な状況であり、奨学金等のサポートも充実している。そのような状況も含めて、最後まで、粘り強く支援していただきたい。 2 学校運営への提言 定時制には様々な困難を持っている生徒が在籍していると推察する。指導は大変かもしれないが、少しずつの成功体験の積み重ねがあれば、生徒も大人も成長していくことができると考える。	・本年度の運動会では、幼いきょうだいや卒業生も参加できる種目を加えて、会場にいる全員が一体感を感じることができ行事を目指した。 ・昨年度の学校評価を受けて、本年度は遅刻指導及び、体育の授業・部活動・体育的行事における服装指導などをてこ入れした形となった。年度当初戸惑いを抱いた生徒もあり、その影響も、満足度のアンケート結果に反映されたと分析している。教育相談等を充実させ、生徒の満足度を向上させる取組を全教員で継続したい。 ・将来の選択肢を増やすため、様々な進路について「知る機会」を積極的に取り入れていく。 ・担任及び進路担当教員による面談を充実させるなどして、1年次生の段階から進路やキャリアに関する意識を高めていくための系統的な指導をシステムとして構築する。 ・日々の授業だけでなく、部活動や学校行事などの全ての教育活動の中で自己理解や他者理解を深められるような場面を意図して設定していく。 ・新規に立ち上げた文化祭は、生徒が自己有用感を得られる学校行事となるようにさらに工夫する。